

おめでたい言葉で福を呼び込む「祝福芸」

三河万歳をご存知ですか

① 三河万歳ってなんだろう？

国の重要無形民俗文化財の指定を受けている三河万歳には、西別所町・東別所町を起源とする『神道三河万歳』、福釜町・榎前町を起源とする『三河御殿万歳』『三曲万歳』の3種類があります。

『神道三河万歳』の起源は、戦国時代に松平家忠が日記に記した「舞々」から影響を受けてできたという説をはじめ、諸説あります。

江戸時代には幕府の保護のもと盛

▲ 神道三河万歳



全国古典万歳大会(平成27年度)

▲ 三河御殿万歳



第31回 国民文化祭・あいち2016 文化庁国民文化祭事業
全国万歳フェスティバル in 安城(平成28年度)

② 三河万歳の魅力はここ！

三河万歳の魅力は、独特の台詞回しと時には笑いを誘うような太夫と才蔵の掛け合いです。その内容は、おめでたい言葉を並べ、その言霊(言葉が持つ霊力)から福を呼び込む祝福芸。霊力をもらい幸せになれる場所がパワースポットなら、三河万歳は「パワートーク」と言えるでしょう。

③ 後世に伝えていくために

戦後には、一部の地域のみで万歳の披露が行われていましたが、時代の流れとともに伝承が難しくなつたため、昭和42年に榎前町の有志により「安城の三河万歳保存会」が結成されました。保存会では、老人ホームや町内会での新春披露のほか、近年では、市内小学校等で後進の育成指導にも力を入れています。

また、三河万歳を経済面で支えるために、昭和51年に「安城の三河万歳後援会」が発足しました。市内の町内会をはじめ、多くの人の協力によって、安城の三河万歳の伝承活動は支えられています。

安城の三河万歳保存会と後援会では、三河万歳をやってみたい人・応援したい人を募集しています。民俗芸能は「特別な誰か」が行うものではありません。大切なのは、少しの興味とはじめの一步。まずは一度観るところから始めて、三河万歳を身近に感じてみませんか。

■ 問合せ

歴史博物館(☎77-6655)
安城の三河万歳保存会会長・山口富也さん(☎92-1567)

新春の催し

新春は三河万歳で初笑い

「新春招福の初舞」

●日時/場所 1月1日(例)午前0時↓南明治八幡社(花ノ木町)、大岡白山神社(大岡町)、池浦天満宮(池浦町)
0時35分↓不乗森神社(里町)
0時45分↓二本木八幡社(緑町)、上条白山姫神社(上条町)
1時5分↓白山比売神社(今本町)
※時間は前後することがあります。

●問合せ 歴史博物館(☎77-6655)

丈山苑「三河万歳」

新春を寿ぎ、丈山小学校児童が「招福の舞」を可愛く舞います。

●日時 1月6日(土)午後2時〜2時20分

●料金 入苑料100円(中学生以下無料)、呈茶料300円

●問合せ 丈山苑(☎92-7780)